

「久富木ぴんころ一宿一飯」にみる

町内グリーン・ツーリズムの姿。

■8月1日から2日にかけて久富木地区で「第13回久富木ぴんころ村一宿一飯夏祭り体験ツアー」が開催されました。今回は9人の方が参加され、さつま町の自然を満喫しました。

■参加者の声
崎元さんご一家（鹿児島市）

8月1日
14:00



■竹細工・竹林体験



二渡地区の「竹の子村」で夕食の交流会に使用する竹製のコップや箸を作りました。

8月1日
18:30



■夕食交流会
ナンコ大会



地元食材をふんだんに使った、郷土料理などを堪能した後は、恒例の「ナンコ大会」が始まりました。初めてのナンコ体験に首をかしげる人もいました。こうしてさつま町での夜はふけていきます。

8月2日
10:00



■そば打ち体験



佐志地区の「山崎農場」で昼食用のそば打ちを体験しました。

8月2日
11:30



■昼食



先ほど打った「そば」を昼食としていただきます。自分でつくった「そば」は、やっぱりおいしい！「そば」は、お持ち帰りに・・・

前回行われたツアーに参加して、さつま町の方々の人柄や自然がとても気に入ったので、今回も参加しました。行程の中で竹細工はもつと時間をいただいて一つの物を自分で最後まで仕上げてみたいと思いました。

また、夕食交流会では地域の方々とゆっくりふれあうことができ、ナンコ大会での交流により更に距離が縮まったと思います。宿泊先の「竹の子村」の山下さんをはじめ、皆様の親切な対応、人柄にふれたことが印象的でした。さつま町の自然は前回よりすばらしく本当に良い機会でした。日程が合えば今後も参加したいと思います。



家族で参加の崎元さん

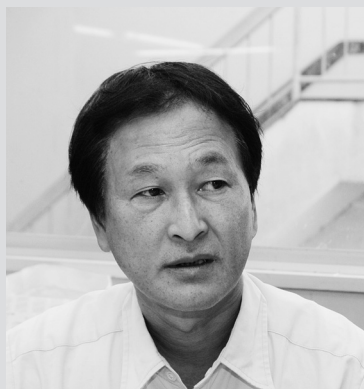
一緒に「さつま町ファン」

をつくりましょう！

グリーン・ツーリズムはこれからの農業活性化の大きな起爆剤になると考えています。

一般的に、安心安全な農作物を栽培すると言いますが、消費者の方々が生産現場を体験することで、農林業の厳しさ、楽しさ、食の大切さを学びながら少しでも理解と意識が変わることと、併せて生産者の方々も交流から「元気」が得られることを期待しています。

農政課では、グリーン・ツーリズムを実践される方には常日頃から、ボランティアでは長続きしないし、収入にも乏しいので、無理せず、自分たちも楽しみながら交流の輪を広げる、友達をつくる、さつま町のファンをつくるところからはじめるよう指導しています。やる気のある実践者（グリーン・ツーリズム研究会）を支援できるよう、窓口を設置しておりますので、お気軽にご相談ください。



さつま町役場 農政課長
赤崎 敬一郎

町内農家民宿施設の紹介

グリーン・ツーリズム研究会に所属する、農家民宿4施設を紹介します。（平成21年9月現在）

①農家民宿美の里

さつま町時吉1400



②農家民宿&体験所いちの

さつま町泊野1279-3



④山崎農場

さつま町広瀬1335



③竹の子村

さつま町二渡4672

